

鎌倉 ハートナース



(ホトトギスとネムノキ / 西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第91号 令和元年6月発行(季刊)

発行/編集: 鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

こんな市民活動しています!

リレートーク No.11

~知りたい! やりたい! のタネをマナビノキに育てよう~



末原 絵美さん

NPO法人 マナビノキ 代表理事

<https://manabi-no-ki.localinfo.jp>

<https://www.facebook.com/manabinoki.1st/>

リレートークとは: 鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。是非、お知らせください。

「マナビノキ」では、「知りたい! やりたい!」という子どもたちのマナビノタネ(学びの種)をマナビノキ(学びの木)に育て、自分らしく生きる力をつけるための「探究型プログラム」を鎌倉周辺地域で行っています。

私は、神奈川県公立学校教諭、附属小学校教諭として14年「生活科・総合的な学習の時間」の研究実践を行ってきました。「生活・総合」とは自分たちの生活や遊びの中、住んでいる地域、環境の中から「知りたい! やりたい!」「なんで? どうして?」を見つけ出し「何を」(学習材)「どうやって」(学習方法)学ぶかを自分たちで考え、決めながら進めていく「探究的な学び」です。

鎌倉はそんな「学習材」があふれたとても魅力的な場所です。子どもたちが自分たちの足で辿りつける場所に、海がある、山がある、川がある、寺社仏閣がある、生活と文化がある。「あの山を越えて帰るとぼくの家への近道なんだ!」と言って小高い山を指さす子。お宮の鳥居の下で脱帽し一礼している子…。子供たちにとって、この自然も歴史も文化も、自分たちの身近であり「生活」なんです。そんな鎌倉で、体験活動的な学び、地域の人々と関わり、つなぐ学び、教科横断型・探究型の学び(「生活・総合」)に特化した教育を行いたい、そして、それを学校や地域に還元していきたい、そんな思いから「NPO法人マナビノキ」を設立しました。

昨年11月より、月2回、20~30名の子ども達と鎌倉の自然、歴史、文化、人々に触れられるような探究型プログラムを展開しています。

- 「調べてみたい! やってみたい! もっと! もっと!」という探究する力
- 「ねえ、どうしたらいい?」と仲間と一緒に考え、行動する協働する力
- 「わかった! こうしてみよう!」と判断、チャレンジ、実行できる創造力

「探究」×「協働」×「創造」というプロセスを大事にして、学ぶプログラムです。

予測不能な未来社会において、自分らしく生きていくために「自分のよさ・友達によさ・地域のよさ」に気付き、自信や誇りをもてること、また自分の住んでいる地域に愛着をもてること、それは、「自分の生き方」や「これからの社会」につながります。子どもたちが、どんな未来社会においても自分らしく、自信をもって、いきいきと生きていけるように!!



昨年の10月から鎌倉FMのシーサイドステーションという番組の中で市民活動を紹介する15分間の枠をいただいて、これまでに8団体の紹介を行ってきました。由比ヶ浜のスタジオに番組を進行するパーソナリティーの山崎さんをお訪ねしました。

○この番組について教えてください。

シーサイドステーションは鎌倉市内の情報をお伝えする番組で曜日によって担当のパーソナリティーが替わります。私は2018年4月から月曜日の担当になりました。市民活動のご紹介は、毎月第3月曜日の10時から行っています。

○市民活動に携わる方々の印象はいかがですか。

鎌倉には単に地元が好きというだけでなく、自然環境そのものに関心の高い人が多いと感じています。それからご自分の活動をリスナーの方にわかりやすくお伝えできる方が多いので、お話を伺う側としては大変助かっています。

○番組を通じて感じたことをお聞かせください。

市民活動については初めての事や知らない事が多く、このコーナーを通じてすごく勉強をさせて頂いています。実際活動している方の言葉には説得力や納得感があり、毎回「気づき」を頂くのも楽しみです。

○これから番組で紹介してみたい市民活動の分野はありますか。

個人的には卓球インストラクターとしてデイサービスのリハビリのお手伝いをしているので、そのような福祉分野の活動にも興味があります。これからもラジオで発信することで地域のつながりのお役に立てれば、と思っていますので、よろしくお願いします。



イベントの告知や団体活動のPRのためにこの番組に出演したい方を募集しています。ご希望があればセンターまでお問い合わせください。

「これからの市民活動・協働を考えるシンポジウム」開催

去る6月22日に商工会議所ホールでシンポジウムが開催され、生憎の荒天にもかかわらず、約60名の参加者がありました。このシンポジウムは今年の1月に「つながる鎌倉条例」が制定されたことに伴い、市民活動や協働について語り合う場づくりの第一歩として鎌倉市が企画したものです。

はじめに条例に伴って発足した市民活動推進委員会の委員長で立教大学の原田晃樹教授から基調講演があり、市民活動を取り巻く状況と持続的な市民活動のための条件として次の3つのことが示されました。

- ① 地域・当事者の声を運営に反映させること
- ② 地域・団体との横の連携・協業関係の構築を促す仕組みを作ること
- ③ 市民活動を側面支援する公的基盤整備や施策を行うこと

そしてこれらの条件を実現するための政策基盤として「つながる鎌倉条例」への期待が語られました。続く第2部のパネルディスカッションでは、持続のための人材育成、市民同士の横のつながり、様々なしがらみを超えるための市民目線といった論点で市民活動に関わる4人のパネリストからそれぞれ現状の



取り組みの報告がありました。第3部では会場の参加者からの質問にパネラーが答える形で意見交換がおこなわれました。学生が市民活動に参加することで成長する事例、多様なセクターのリソースの活かし方、被災地支援での地域連携の重要性、行政組織の連携を促す協働事業の可能性など多角的な議論が展開されました。また、これからの協働を実現する上でコーディネーターとなる中間支援組織の役割の大切さを改めて認識したシンポジウムでした。

NPOセンターホームページが変わります

近日公開

皆さまに様々な情報を提供しているセンターのホームページを全面的に見直しています。右の画像はトップページのイメージです。見直しのポイントは、

- ① 現状の文字中心のデザインからアイコン、画像を多用した見やすく、親しみやすいデザインに変えること
- ② 会議室予約を含め、センターからの最新情報がタイムリーに提供できること
- ③ 利用登録団体のイベント告知やボランティア募集の支援を行えること
- ④ スマートフォンの普及を受け、パソコン以外の多様な端末でも見られること
- ⑤ 鎌倉らしさが画面から伝わること

これらの点を改善して、より皆さまのお役に立てる、ご利用して頂きやすいホームページにしたいと思っておりますのでご期待下さい。新しいホームページは9月までに運用を開始する予定です。

なお今回の改訂にあたっては、デザイン会社に総合的なデザイン監修をお願いし、コーディング（テキストや画像のデータをプログラミング言語で記号化してインターネット上で実際に見えるようにすること）については、NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議／広報部会の全面的なご協力をいただいております。



かまくら市民活動フェスティバルが変わります

今年のフェスティバルは、生涯学習センターが耐震工事のために使えなくなりましたので、会場をたまなわ交流センター（NPOセンター大船が1階に入っている建物）に移して11月3日と4日に行います。生涯学習センターに比べて一般市民の集客が難しいことや会場が狭く建物の中で分散するなどの制約条件も加わりますが、逆にこれを好機ととらえ、これまでのフェスティバルの内容をあらためて見直します。基本的な考え方としては、今般のつながる鎌倉条例制定を受け、市民同士の横の「つながり」を広げることを目的とするイベントとします。このため、市民活動団体同士のつながりや協働を核として、行政、学校、企業、自治会など多様なセクターと市民活動団体との関係性をつくる場としてフェスティバルを位置付け、様々なパートナーシップが生まれる契機となることを目指します。これまでのフェスティバルとの主な違いは次の通りです。

- ① 横造紙大のパネルを使った展示は行いません（団体の活動紹介については別途方法を検討します）
- ② 映画・音楽・シンポジウムといったホールを使った催しもありません
- ③ ワークショップやミニセミナーなど参加型の催しが中心となります
- ④ 販売や飲食に関する諸条件も従来からの変更が予想されます

具体的な内容につきましては、フェスティバル実行委員会を立ち上げ知恵を出し合っているところです。改めて説明会を開催するとともに、次号でも詳しくお知らせいたします。また、かまくらファンドの公開審査会は例年通り11月3日に市民活動フェスティバルの会期中に同会場で行います。どうぞご予定ください。

センターからのお知らせ

新規登録団体のご紹介 (令和元年6月25日現在)

★**塔之辻自治会**：町内在住の会員が、良好で安心、安全な住環境を維持できるよう、また地域社会の発展のため、防犯、防災、環境、福祉などの活動に取り組んでいます。

★**仲之坂町内会**：安全快適な地域社会作りを目指し、会員の相互扶助と親睦を図る活動をしています。防災、子育て、高齢者支援、防犯、交通安全、環境美化などの課題について情報の共有、意見交換、関係機関との連携も行っています。

★**聞き書きボランティアグループはちまん**：聞き書き活動の実施と普及、スキルの向上を目指しています。話し手がお話したいことを話し言葉で書き起こし、冊子にする活動をしています。話し手が自分を取り戻すきっかけにもなります。

★**NPO法人 ZIRITSU**：社会的養護を必要とする子どもが善良で自立（ZIRITSU）した大人になれる社会づくりに寄与することを目的としています。従来の福祉とは違い、CSV（共通価値創造）の視点で活動します。

★**五葉会**：大町5丁目自治会と松葉町内会で組織し、町民相互の親睦を図り、事業発展・向上を目指して活動しています。大町5丁目ふれあい広場を拠点としたイベントのほか、防犯、防災、環境美化にも取り組んでいます。

★**NPO法人サクラガーデン**：障がい者へ就労の場を提供することを目的に、造園業を通して社会に貢献します。草刈、庭木の剪定、伐採、病虫害防除などの作業によって、高齢者の見守り、雇用創出、次世代への技術伝承を図っていきます。

★**NPO法人マナビノキ**：「知りたい」「やりたい」という子どもたちのマナビノタネを育て自分らしく生きる力をつけるための探求型プログラムを鎌倉周辺で行っています。子どもも大人もみんなが自分らしく生きていける社会の実現を目指します。（リレートークもご覧ください）

新スタッフの紹介

片岡まりあ

はじめまして。3月よりNPOセンターでお世話になっております片岡まりあです。センターを訪れる団体の方々への熱い活動内容に毎回感銘させて頂いております。家では子ども3人の食事の用意と習い事の送迎に翻弄されている毎日を送っています。まだまだ色々ご迷惑をおかけするかとと思いますがよろしくお願いいたします。



藤永裕絵

3月末よりセンターのスタッフになりました藤永裕絵です。生まれも育ちも鎌倉ですが、家庭を持ち母となり暮らす鎌倉について改めて知らないことも多く、センタースタッフになってから新しい発見や様々な年代の方とお会いする機会があり、楽しみながら勤めさせていただいております。趣味はパン作り、アクセサリー等ハンドメイドです。まだまだ未熟ですが今後ともよろしくお願いいたします。



編集後記：NPOセンターホームページが近々、リニューアルされます。スマホ対応になっています。トップページのデザインも鎌倉らしく一新され、情報が伝わりやすいページになっていると思います。楽しみにお待ちください。スタッフ一同、出来るだけタイムリーな更新を心がけますので、みなさん、どんどんアクセスしてくださいね。お気づきの内容や感想もお待ちしております（藤）

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10
TEL：0467-60-4555
FAX：0467-61-3928
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25
(たまなわ交流センター1階)
TEL/FAX：0467-42-0345
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

令和元年6月1日現在

利用登録団体数：378 団体

※ 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は、速やかにお知らせください。